

かがやき

中央区教育広報誌 No. 106

ホームページアドレス <http://www.city.chuo.lg.jp/kyouikuiinkai/index.html>



中学校連合陸上競技大会



本栖移動教室（有馬小学校）

このたび、教育委員長に就任いたしました永嶋久子でございます。

教育委員として間もなく二年を経過しますが、委員長という大役を仰せつかり、身も心もさらに引き締まる思いがいたします。

教育委員会の会議において、先輩委員のご発言や勉強会においていろいろ話をきくにつけ、「教育とは」あるいは「教育委員会とは」と考える毎日が続きました。私も専門学校の校長として、常々人を育てる難しさを痛感しておりますが、何よりも、次代を担う子どもたちが心身ともに健康で、人間性豊かなひととして成長していくことができる環境づくりが大切であると思います。

そのために、どのような手立てを講じていくか区民の皆様のお声を聴き、地域の皆様のお力を借りながら、教育環境の充実に努めてまいります。

皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



教育委員長 永嶋久子

あいさつ

親子で楽しむ

イベントカレンダー

2007 11/17~2008 1/12 予定は変更になる場合もありますのでくわしくはお問い合わせください。

11月

17 (土)

- わらべ唄であそぼう（どんぐりのおはなし会）（日本橋図書館6Fホール）（幼児・乳幼児の親子）10:00~11:30
中央区地域家庭教育推進協議会 ☎3546-5526（当日直接会場へ）
- トライトライ「折り紙しよう」10:00~12:00
築地児童館 ☎3544-0127（当日直接会場へ）
- 卓球をしよう（小学生以上20名）14:00~16:00
築地児童館 ☎3544-0127（窓口申込み）
- おたのしみやさいも会（越前堀児童公園）（幼児以上 幼児は保護者同伴）13:30~15:30 新川児童館 ☎3553-2084（窓口申込み 受付11/10~参加券配布 当日可）
- 文化祭 13:00~16:00
浜町児童館 ☎3669-3386（当日直接会場へ）
- いきいき本将棋会 14:30~16:30
佃児童館 ☎3531-7811（当日直接会場へ）
- 工作あそび「切り絵でクリスマスカードをつくろう！」（小学生以上・親子）13:30~16:30 佃児童館 ☎3531-7811（窓口申込み 受付11/5~ 先着30名）
- サタデースポーツクラブ（佃島小・クラブハウス）13:30~16:00
体育指導委員協議会 ☎3546-5528（当日直接会場へ）

24 (土)

- みんなで卓球 9:00~12:00
月島児童館 ☎3533-0885（当日直接会場へ）
- スポーツデー「卓球」（親子可）14:00~16:00
佃児童館 ☎3531-7811（当日直接会場へ）

12月

1 (土)

- いきいき本将棋会 14:30~16:30
佃児童館 ☎3531-7811（当日直接会場へ）
- 工作あそび「児童館入口の壁画をつくろう！〜クリスマス編」10:00~11:30, 14:00~16:30
佃児童館 ☎3531-7811（当日直接会場へ）
- ファミリー広場「ソフトバレー」（小・中学生・親子）10:00~12:00 月島児童館 ☎3533-0885（当日直接会場へ）
- サタデースポーツクラブ（佃島小・クラブハウス）13:30~16:00
体育指導委員協議会 ☎3546-5528（当日直接会場へ）

8 (土)

- やきいもゲーム会 13:00~16:00
浜町児童館 ☎3669-3386（当日直接会場へ）
- スポーツデー「ユニホック」（親子可）14:00~16:00
佃児童館 ☎3531-7811（当日直接会場へ）
- バックギャモンをしよう 15:00~16:45
勝どき児童館 ☎3531-3250（当日直接会場へ）

15 (土)

- 親子タイム「クリスマス飾り作り」（小学生以上の親子）13:30~16:30
新川児童館 ☎3553-2084（窓口申込み 受付11/8~）
- クリスマス会 14:00~16:00
堀留児童館 ☎3661-8937（窓口申込み 受付12/3~）
- 日本橋たいめいけんの親子料理教室（親子・小学校4年生以上は子どもだけでも可）10:00~14:00 浜町児童館 ☎3669-3386（窓口申込み）
- いきいき本将棋会 14:30~16:30
佃児童館 ☎3531-7811（当日直接会場へ）
- 親子料理教室「クリスマスのお料理」（小学生の親子）10:30~14:00
佃児童館 ☎3531-7811（窓口申込み 受付12/1~ 先着15組）
- みんなで卓球 9:00~12:00
月島児童館 ☎3533-0885（当日直接会場へ）
- サタデースポーツクラブ（佃島小・クラブハウス）13:30~16:00
体育指導委員協議会 ☎3546-5528（当日直接会場へ）
- クリスマス子ども会（幼児・小学生・親子）14:00~15:30
日本橋図書館 ☎3669-3798（当日直接会場へ）

21 (金)

- クリスマス会をしよう 15:00~16:00
佃児童館 ☎3531-7811（当日直接会場へ）

22 (土)

- みんなで卓球 9:00~12:00
月島児童館 ☎3533-0885（当日直接会場へ）
- お母さん先生に教わろう「くるみ絵工作」（小学生以上・親子可）13:30~16:00 勝どき児童館 ☎3531-3250（窓口申込み 受付12/15~ 先着30名）

25 (火)

- クリスマス会（小学生）15:30~16:30
浜町児童館 ☎3669-3386（当日直接会場へ）
- クリスマス会 15:00~16:30
月島児童館 ☎3533-0885（当日直接会場へ）

26 (水)

- 映画会（幼児）10:00~、15:00~
築地児童館 ☎3544-0127（当日直接会場へ）

27 (木)

- 大そうじ会 15:30~16:30
勝どき児童館 ☎3531-3250（当日直接会場へ）

28 (金)

- 大掃除&あそびおさめ会（小学生）15:00~16:00
築地児童館 ☎3544-0127（当日直接会場へ）
- すす払い&新川シアター（小学生以上）14:00~16:30
新川児童館 ☎3553-2084（当日直接会場へ）
- 大そうじ会（小学生）15:30~16:45
浜町児童館 ☎3669-3386（当日直接会場へ）

1月

5 (土)

- スポーツデー「羽つき」（親子可）14:00~16:00
佃児童館 ☎3531-7811（当日直接会場へ）

7 (月)

- 新年子ども会（小学生以上）14:00~16:00
新川児童館 ☎3553-2084（当日直接会場へ）

8 (火)

- 新年おたのしみ会 15:00~16:00
月島児童館 ☎3533-0885（当日直接会場へ）
- 新年おめでとう会 14:00~15:30
勝どき児童館 ☎3531-3250（当日直接会場へ）

9 (水)

- 新年子ども会 15:00~16:00
佃児童館 ☎3531-7811（当日直接会場へ）

12 (土)

- 竹工作（小学生）14:00~16:00
築地児童館 ☎3544-0127（当日直接会場へ）
- ファミリー広場「ソフトバレー」（小・中学生・親子）10:00~12:00
月島児童館 ☎3533-0885（当日直接会場へ）
- バックギャモンをしよう 15:00~16:45
勝どき児童館 ☎3531-3250（当日直接会場へ）

毎週土曜日
（12/29、1/5を除く）

- キンボール、卓球（佃中・体育館、子どもは保護者同伴）18:30~20:30
体育指導委員協議会 ☎3546-5528（当日直接会場へ）



子どもに届けよう、 本の世界の楽しみを！

学校図書館指導員
植田たい子

読書シーズン到来

毎年開催される秋の読書週間が始まったのは終戦もない昭和22年のこと。まだ戦火の跡が痛々しく残るさなかに「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」と始まりました。10月27日～11月9日（文化の日を中心に）の約2週間、毎年標語を定め、今や読書推進の行事として定着しています。61回目にあたる本年の標語は「君と読みたい本がある」で、「君」という字を子どもに変えてみると親子で読書とも受けとれます。また、学校で、図書館で、地域で子どもの読書を大切に考える人たちが本を読んであげる活動に重ね見ることでもあります。

そういえば、今年の春の第49回「子どもの読書週間」の標語は「いっしょに読もうか」でした。子ども

の読書活動を豊かにしていくには、本を読む時間と本との出会いの場をどのように確保するかが大きな鍵となるでしょう。

2000年の「子ども読書年」に続いて2001年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布され、4月23日は「子ども読書の日」となりました。

この秋も子どもと読書に関するシンポジウムや学習会が開かれ、子どもの読書に対する関心は一段と高まっています。これほどまでに読書が騒がれる一因に、読書離れだけでなく、子どもの犯罪や学力低下を懸念する大人側の対応も見逃せません。社会の影響を受けながら子どもの読書環境の整備が各地方自治体でも進められるようになりました。

中央区も区立図書館でのお話会や展示、子ども会・講演会などを開催

し、読書普及活動を展開していますし、小中学校では3年前から学校図書館指導員が配置されて子どもの読書環境整備をすすめ、学習に必要な図書の購入、学級での読み聞かせやブックトーク（読み聞かせと本の紹介）、図書館便りの発行など、人の集まる図書館作りに取り組んでいます。

本との出会いを楽しむ子ども

私は、学校図書館指導員として阪本小学校、京橋築地小学校で、また、個人的活動として病院や公共図書館でもお話や読み聞かせをしています。



学校図書館指導員による読み聞かせ（阪本小学校）

先日、ブックトークで4年生にシートン動物記の短編「ぎざ耳ウサギ」を読みました。シートンの人物像を簡単に紹介しシートンの顔写真を見せると身を乗り出し、作者や作者の他の物語への興味を持ったようでした。最後に語った「くらいくらいおはなし」（昔話）では耳を両手でふさいでしまう子もいて、ハラハラして見つめているその姿に手応えを感じました。

異年齢の子どもたちが集まる公共図書館でのお話会で、幼児から3年生ぐらいの子どもたちと親20数名の前で「こんにちワニ」（中川ひろたか・ぶん P H P 研究所）を読みました。「こんにちワニ」、「だるまさんがころんだんご」と読み進む言葉遊び。子どもたちは絵と言葉の醸し出す遊びの世界に、口々に声を発し、身体をゆすって大笑い。母親や父親も子どもと同じ目線で笑う姿に読み手冥利を味わったばかりです。お話会が終わると用意された絵本があつというまに子どもたちの手に渡ります。今読んだばかりの本なのに、借りたがるのは読んでもらった楽しさをもう一度楽しみたいという子どもの心理です。

『ぐだもの』（平山和子・さく 福

音館書店）という絵本は幼児の目線にあった本。子どもの身近な果物とやさしい母親の手をしっかりと見つめます。「いちご」「さあどうぞ」と単純な言葉の繰り返しに、まるで本物のいちごがあるかのようにページに手をあて、いちごをつまみ、口に

持っていくきます。ないと承知の上で、いちごを味わう。絵本を読んで想像しているのです。何と豊かな想像力ではありませんか。

小学生も中・高学年になると幼児のような反応は示しませんが興味にはまった本なら別です。

子どもにとって楽しい本との出会いは読書の興味を抬げます。自らが本を手ページをめくるだけでなく、肉声で誰か（父母や家族、或いは地域の読み聞かせボランティアなど）に読んでもらうこともまた、読書であると大人が理解することも大切です。

子どもたちの状況

「子どもたちがお話を聞いているとき、絶えず身体が揺れている」「自分が表現したいことが言葉にならず手が出る」など聞く力の衰えが指摘されています。落ち着いて本を

読む環境があるのか気になり、『子ども白書2006年版』（草土文化）を調べてみると都内小中学生の3人に1人はテレビ、ゲーム、携帯電話等で平日一日4時間以上も費やしていることがわかりました。読書調査でも、読む子どもと読まない子どもの差、本を読む力があるのに本を読まない子どもたちがいることもわかっていきます。学習・睡眠・塾や稽古事と忙しい子どもたちに、本への信頼をどう伝えるか、大人が試されているように思います。

本は子どもの成長の糧

いま、電子メディアの発達によって、情報伝達の流れは、大きく変容していますが、その使い手が人間であるかぎり、人間性を育て、かたちづくり、生きていくために、「本」が重要な役割を果たすことにかわりありません。絵本を読んでもらう時、絵本はページをめくるだけで動きません。けれどものすごく想像力をめぐらして子どもはお話を聞いています。生きることや物事を考える力を深めるには豊かな想像力は不可欠。その想像力を本は生み出してくれます。『読書からはじまる』（NHK出版）

という本のなかで著者の長田弘（詩人）は、子どもの本は子どもが大人になっていくのに必要なもの。子どもの本になくてはならない三つのものとして「古くて歳とったもの（歳をとった人、あるいは古くて年月の経ったもの）、二つ目は「小さいもの（幼い人あるいは小さい植物など）」、三つ目は「大切なもの（自ら生きるもの、わたしたちの日々にとって大切なもの）」をあげ、優れた本にはこの3つが描かれていると述べています。『指輪物語』（評論社）や『ゲド戦記』（岩波書店）、絵本の『おおきなかぶ』『てぶくろ』（共に福音館書店）などを読んでもみるとその深い意味に気づくことでしょう。

大人にできることは、

まずは、子どもの身近にいつも本があるように気配りすること。そして、読んであげることから始まるでしょう。赤ちゃんがじっと視線を静止できるようにする時から読み聞かせは始まるといわれていますが、その前に豊かな言葉かけも必要です。子どもが何度も読んでとせがむ時が読書の一步。何歳になっても本のある場所に子どもを案内し、そっと手



シニア読み聞かせボランティアによる朝の読書（阪本小学校）



柏芋掘り遠足（久松小学校）

10月10日（水）4年生が柏学園に芋掘りに行きました。春に植えた芋苗が立派に育ち、楽しみにしていた秋の収穫です。子どもたちは土の感触を楽しみながら、掘り出した大きなさつまいもに歓声を上げていました。



大人のための天文講座（タイムドーム明石）

9月23日（日）タイムドーム明石で大人のための天文講座「人工天体が初めて飛んだ日」が開催されました。参加者は宇宙開発の歴史について、プラネタリウムの映像と講師の解説を楽しみながら、学習していました。



宇宙教室2007特別講演会・特別宇宙展

8月28日（火）に銀座ブロッサムホールで特別講演会が開催されました。『宇宙からのメッセージ ～いのちを大切にすること～』をテーマに講演していただきました。また、8月29日（水）から9月2日（日）まで、教育センターで特別宇宙展が開催されました。



稲刈り（日本橋小学校）

9月6日に十思スクウェア内に作られた田んぼで稲刈りが行われました。小雨降るなか、日本橋小学校の児童は慣れない田んぼの泥と悪戦苦闘しながら、立派に育った稲を刈り取りました。



生き方講演会（日本橋中学校）

10月4日（木）盲目のピアニスト島崎英夫先生をお迎えして、生き方講演会が行われました。2歳で失明しながらも、ピアノ演奏家・作曲家として活躍中の先生の演奏や「逆境は宝物への入り口」と話す先生の言葉に生徒・保護者・来賓の方々は大きな感動を覚えました。



少年少女バドミントン大会

9月22日（土）総合スポーツセンターにおいて少年少女バドミントン大会が開催され、小学校4年生から6年生までの男女ペアが参加しました。選手たちは、日頃の練習の成果をコートの中で発揮し、汗を流していました。



月島西仲商店街での交通安全パレード（豊海小学校）

9月8日（土）月島西仲商店街で行われた交通安全パレードに豊海小学校管楽器クラブの児童が参加し、日頃の練習の成果を披露しました。開校以来の伝統ある演奏に、町の人たちも聞き入っていました。



第36回中央区児童・生徒発明くふう展

9月25日（火）から9月30日（日）まで、教育センターで発明くふう展が開催されました。区内小中学生の工夫に富んだ作品の中から、特別優秀賞、優秀賞、努力賞に入選した作品は「第51回東京都児童・生徒発明くふう展」に推薦いたしました。

海外中学生の受入れ

姉妹都市のオーストラリア・サザランド市より12名の生徒が来日し、9月27日（木）から10月6日（土）までの10日間を中央区で過ごしました。

各中学校に分かれての体験入学では、華道や茶道などの日本文化にふれる機会もあり、日本橋中学校では書道にチャレンジしました。一生懸命取り組んだかいあって、良い作品に仕上がったようです。

どの生徒も良い思い出と多くの友達を作ることができ、貴重な交流体験となりました。



子どもの詩

あこがれだった
ドリル演奏

月島第三小学校6年

国分 緋里

澄みきった晴海の空の下
ついにその時が来た
頭の中が真白になった
笛の合図でバチを持つ手と足が自然に動く
自分の体が不思議に思う
あこがれだったドリル演奏

今その中に自分がいる
リズムと共に体が動く
楽器と体が一つになった
うれしかった

楽しかった

大変だった練習を乗り越えたからこそ
今ここにいます

小学校最後の運動会
鼓笛が心を埋めつくす





学校さんぽ

やる気と自信が芽生える「一輪車学校」

中央小学校

古くて新しい学校

中央小学校は、平成5年に、それまで長い歴史を綴ってきた旧鉄砲洲小学校と旧京華小学校の二校が統合して開校しました。校舎は旧鉄砲洲小学校の校舎を改修したものです。石造りの玄関や昔ながらの重厚な作りの階段などがレトロでどこか懐かしさと優しさを感じさせます。また、校庭にある桜の木は春に見事な花をまとい、地域の方の観桜会の場となっています。

地域密着型の小学校として

本校には、現在百十名の児童が通っていますが、祖父母や両親が旧鉄砲洲小学校や旧京華小学校の卒業生という、二代、三代にわたってこの地に住まわれている家庭も少なくありません。そのため、地域の方と学校とは密接な関わりを持っており、学校活動には常に

ご協力いただいています。子どもたちも地域のお祭りやイベントに積極的に参加しており、学校も地域の運動会に積極的に参加するなど、幅広い交流を展開しています。昨年は手話教室やお年寄りを招いてのふれあい給食、音楽家の方のご協力を得ての音楽鑑賞会などを実施しました。



一輪車の効果

本校では、一輪車への取り組みも積極的にを行っています。

入学すると一輪車を一人一台使用でき、児童たちは休み時間を中心に練習に励んでいます。一年生が早い時期に一輪車に親しむことができるよう、休み時間に六年生が指導したり、先に乗れるようになった児童がまだ乗れていない同級生の手を引いてあげたりなど、児童同士で支え合いながらチャレンジしています。その結果、入学後二箇月もすればほとんどの児童が乗れるようになっていきます。

本校では一輪車発表会を年二回開き、保護者の方や地域の方に児童たちの練習の成果を披露しています。

あるとき、発表会をご覧になった方から、「一輪車が伝統として根付いていることの素晴らしいさは、自分が教えてもらった経験の後輩に引き継いでいることにあるので

はないだろうか」という感想をいただきました。一輪車への取り組みを通して子どもたちは運動能力の向上だけでなく、よく考えて行動し、人を思いやる豊かな心を育んでいます。



家族レポート 明石幼稚園PTA 山野井 明美

就寝してから1・2・3……あつという間に朝！「ああ、もう朝だ……」という具合にヘトヘトになっている毎日です。というのも、我が家はただ今育ち盛りの子ども三人に囲まれ、朝から晩までバタバタと過ごしているのです。できるだけ家族一緒に過ごす時間を作ろうと、夕食後散歩がてら大縄跳びや、ローラーブレードをするこ

ともしばしばです。



てきてから六年がたちました。現在、明石小学校・明石幼稚園・明

石町保育園にお世話になっており、習い事、さらに私達夫婦の勤め先も中央区！改めて、六年間でこの地域にどっぷりつかり、密着してきたことと思います。

少しずつ知り合いも増えていき、街を歩くと知り合いに会わないことがない程になりました。その方たちから様々な事を学ばせていただいています。おつきあいの仕方や子育てで大切なこと、よその子をも叱れる温かさ、人として大事なこと……。私も日々学んでいます。が、きっと子どもたちにとって、地域の方々にあたたかく見守られて育つてゆくことは何よりの宝物となると信じています。さらに、真剣に子ども達と接してくださる先生方にめぐりあえたことにも感謝しております。

今日もまた、子ども達にせがまれ疲れた体に鞭打って、恒例の縄跳びに行くことでしよう。家族一緒に楽しめるのめわずかな間よ」と聞くと重い腰もあがります。いつになったら「あら、まだ朝じゃないワ」と思うほど熟睡出来るのやら。

教育委員会の動き

第9回定例会（平成19年9月12日開催）

（可決した議案）

◆平成19年度中央区一般会計9月補正教育予算案

（報告事項）

◆平成20年度小・中学校新一年生、幼稚園の就学（園）事務

◆平成19年度オーストラリア中学生の受入れ

◆子ども図書館の実施結果

◆京橋図書館施設改修工事の見直し

◆平成20年新年こども羽根つき大会（第52回）の実施

◆意見・要望（選挙）

◆委員長選挙

第10回定例会（平成19年10月17日開催）

（可決した議案）

◆中央区立小学校及び中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

（報告事項）

◆平成19年度到達度診断テストの結果による授業改善プラン

◆平成19年度中央区立小・中学校児童・生徒体力調査に関する結果

◆平成19年特別区人事委員会勧告の概要

◆平成20年中央区成人の日記念式典「新成人のつどい」の実施

◆第19回「区民スポーツの日」の実施結果

◆意見・要望

教育相談室

お子さん自身が、または、お子さんのことで困ったり悩んだりしていることはありませんか？
臨床心理士が様々な相談に応じています。

【来所相談】 ☎(3545)9200（予約）
教育相談室で、臨床心理士が直接お話をうかがいます。

【電話相談】 ☎(3545)9203
高校生までのお子さんについての相談に応じます。
※ どちらも相談料は無料です。

区立教育センター 中央区明石町12-1
相談日 毎週月～土曜日

中央区教育広報誌「かがやき」では、皆様の声をお待ちしています。

教育委員会事務局庶務課
〒104-8404 中央区築地一丁目

☎(3546)5503

編集後記

今回は読書活動についてとりあげました。想像力を働かせ、物語の世界を旅することは、素敵なことです。音読することは脳のトレーニングに良いともいわれています。秋の夜長に親子でお気に入りの本を互いに読み聞かせあつてはいかがでしょうか。